

Q1 なんて知事・市長を辞任して出直しW選挙をするの？

A 住民不在の「密約」を暴露、「都構想」法定協も紛糾！
身勝手で党利党略の維新

松井知事が暴露した「密約」は、維新と公明が「特別区設置協議会（法定協）」議案をそれぞれ可決し、法定協で慎重かつ丁寧な議論を尽くすことを前提に今任期中で住民投票を実施するという合意文書です。都構想の「住民投票」実施へのヤミ取引を公明党が

守らないからと言って「知事と市長が辞任して統一地方選挙と同日ダブル選挙」と脅しをかけています。正々堂々と市民に支持を得ることができず、「密約」とゴリ押しで前に動かそうとする維新。「大阪都」構想はきっぱり断念すべきです。

「大阪都」とは呼べない！ だから「大阪都」構想？

知っていますか？

地方自治法など法律のどこにも「大阪都」という文字はなく、「住民投票」も大阪市以外の府民を対象にいません。大阪市を廃止して大阪府を変えるのに府民の意見を聞かないのは問題です。

Q2 すでに否決された「都構想」なんてまた「住民投票」？

A 選挙公報に一言もなく「民意を得た」とゴリ押し
ウソとペテンで市民をだまし、

2011年ダブル選挙で「だまされしないで下さい。維新は大阪市をバラバラにしません」とウソの宣伝が始まり、「協定書案」に維新以外が反対して一度は否決されたものの、官邸と創価学会本部を動かした公明党が態度を急変させ、2015年5月に「住民投票」が実施されました。橋下氏は「究極の民主主義」「ラストチャンス」と強調しましたが、大阪市民は「都構想ノー」の審判を下し、橋下氏は政界引退に追い込まれました。その後、ダブル選挙で吉村市長候補の選挙公報には一言もなく、当選すると「民意を得た」。ウソとペテンを繰り返しながら地方自治も民主主義も破壊させています。

